

各地区工学教育協会 会長殿
日本工学教育協会 理事殿
学校会員 各位
賛助会員 各位
企業会員 各位

公益社団法人 日本工学教育協会
専務理事 剣持 庸一
コミュニケーション教育調査研究委員会
委員長 西條 美紀
(印省略)

第 12 回ワークショップ「ギルベインゴールドケース 解決篇」開催のご案内
—何をどうすれば人々の協働の場を作り出せるのか—

標記ワークショップを下記により開催いたします。学校会員、賛助会員、企業会員各位におかれましては、会員並びに関係各位にご案内くださいますようお願い申し上げます。各地区工学教育協会におかれましては、ご承知おきいただきますとともに、地区行事等の折に PR いただければ幸いに存じます。なお、本ワークショップは教育士（工学・技術）のための「教育力向上セミナー」と位置づけをしておりますので、教育士資格保有者および、今後受審される方に有効な学習の機会となります。公務ご多端の折、お手数をお掛けしますが、ご高配のほどよろしくお願いいたします。

記

1. 開催の趣旨：今夏の年次大会では倫理調査研究委員会と合同で米プロフェッショナル・エンジニア協会作成の「ギルベインゴールドケース」を取り上げ、倫理とコミュニケーションの問題がこのケースにどのように現れているかについて検討しました。今回のワークショップでは、このケースに現れる「ジレンマ問題」を解決し、社内外の人々が連携する場を作るコミュニケーションデザインを考案し、それに沿ったシナリオを作成し、演じてみせることでその効果を検討します。
2. 開催日程：平成 23 年 2 月 11 日（土） 11：00～16：30（10:30 受付開始）
3. 開催会場：工学院大学 高層棟 28 階第 1 会議室（新宿キャンパス）
JR(山手線・中央線・埼京線)、京王線、小田急線、地下鉄（丸の内線・都営新宿線）
「新宿駅」下車西口より徒歩 5 分、大江戸線 都庁前駅 直結、西武新宿線「西武新宿駅」下車、徒歩 10 分
所在地 〒163-8677 新宿区西新宿 1-24-2 TEL 03-3342-1211(代表)
会場の案内図は添付地図か、以下の URL を参照下さい。
URL：<http://www.kogakuin.ac.jp/map/shinjuku/index.html>
<http://www.kogakuin.ac.jp/campus/shinjuku/shosai.html>
4. プログラム：別紙
5. 共 催：工学院大学
6. 募集人員：30 名（先着順受付）、日工教会員外も受講可
7. 対象者：技術者倫理/コミュニケーションを教授されている方、または今後担当される方
8. 申込み：1) 添付の参加申込書にて、Fax 又はメールでお申し込みください。
2) 申込み期限 2 月 3 日（金）17 時まで（期限厳守）
9. 参加費：日工教個人正会員 7,000 円、非会員 8,000 円（資料代）。
当日受付でお支払い下さい。領収書をお渡します。（お釣銭のないようにお願いいたします）
なお、2 月 11、12、25 日に開催される各 WS にお 1 人で複数回参加される場合は、割引料金を設定していますので、別表を参照ください。
10. 継続教育ポイント：全プログラム（終日）参加者は 10 ポイント(5 時間+参加 5 ポイント)
それ以外の方は、1 時間につき 1 ポイント+参加 5 ポイント
11. お問い合わせ先：日本工学教育協会 事務局 事務局長 斎藤 重明、担当 徳田 志乃
Tel 03-5442-1021 Fax 03-5442-0241 メール tokuda@jsee.or.jp

第12回 ワークショップ「ギルベインゴールドケース 解決篇」
 ―何をどうすれば人々の協働の場を作り出せるのか―

開催日時：平成22年2月11日（土）11：00～16：30（10:30 受付開始）

開催会場：工学院大学 高層棟28階第1会議室（新宿キャンパス）

プログラム

（敬称略）

11：00～11：10	ワークショップの進め方（事務局）	10
11：10～12：30	講演1 ギルベインゴールドケースに見るコミュニケーション問題とその解決法 （DVD視聴込み） 講師 西條美紀（日本工学教育協会コミュニケーション教育調査研究委員会委員長）	80
12：30～13：30	昼食（各人にてお取り下さい）	60
13：30～14：30	グループ討議：ケースのコミュニケーションデザインを考える 1. 目的を社内のリスク共有に基づいた解決案作成の場づくりとする 2. 主な登場人物の関心と懸念をリストにする 3. レポートを「翻訳」する計画を立てる：どの時点・誰に・どんな設定で伝えるか ファシリテーター 川本思心（東京工業大学理工学研究科 特任助教）	60
14：30～15：30	グループ討議：デザインを実行するシナリオを作成する 1. 計画に基づいてシナリオを改変するシーンを選ぶ（DVD再視聴） 2. シナリオの作成 3. 表現練習	60
15：30～16：30	発表：改変したシーンを演じる。シナリオを投影し、ねらいについて解説 講師陣コメント 全体討論「シナリオ」を超えて問題解決に必要なもの	60
16：30	終了	

*内容については変更の可能性があります。

*グループ討議につきまして、グループとしての企画案を提出いただくとともに、シナリオを映写しながら検討することを予定していますので、パソコンを持参して頂ければ幸いです。